



まえば
山車の片側を持ち上げ半回転させる曲場

尾張西枇杷島まつり

2000年以上の歴史を誇る「尾張西枇杷島まつり」が6月2日(土)・3日(日)に開催されました。毎年6月の第1土・日曜日に開催される初夏の風物詩。今年は、例年よりも多くの人でにぎわいました。楯方かじかたが力強く曳き廻す5輦の山車は、名古屋型と呼ばれ、数々の屋台が並ぶ美濃路を勇壮に練り歩き、山車の上ではお囃子に合わせ、からくり人形の演舞を披露しました。また、初日の夜には尾張地方で最も早い打ち上げ花火がまつりを更に盛り上げました。

翌日には、いこいの広場で、山車を曳き出す際に、楯方かじかたの士気を高めるために唄われる木遣きぢり(現在では間屋町のみ)を披露する「まつりセレモニー」などが行われ、晴天に恵まれたこの日も、美濃路沿道は人で埋め尽くされました。多くの人でにぎわった2日間。心に残るまつりとなりました。



③	①
	②
⑦	④
⑧	⑥
	⑤
⑪	⑩
	⑨

たかぼり まえば かじかた てこ
 ①高張提灯 ②曲場を披露し歓喜する楫方 ③梶子
 で車輪を調整し山車を回転 ④紅塵車(西六軒町)
 ⑤お囃子 ⑥泰亨車(東六軒町) ⑦頼光車(杖西町)
 ⑧露店を楽しむ子ども ⑨頼朝車(問屋町) ⑩王義
 之車(橋詰町) ⑪大輪の花火